



EV/PHVなど次世代自動車の現状と将来

今回のものづくりIT研究会第42回例会では、「EV/PHV など次世代自動車の現状と将来」をテーマとして、EV研究の第一線でご活躍の研究者およびトヨタ自動車のHVシステムの開発に取り組んでおられる技術責任者をお招きしご講演いただきます。

本講演会は、本研究会会員・共催団体会員のみならず、一般の方にもご参加いただけますので、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

共催：ものづくりIT研究会

滋賀材料技術フォーラム

滋賀県品質工学研究会

デザインフォーラム SHIGA

滋賀県発明協会

システム制御情報学会 サステイナブルFA研究分科会

開催日時

平成24年7月4日(水)

14:45~17:00

開催場所

龍谷大学 瀬田キャンパス

RECホール 1階

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

講演会参加費：会員 無料

(定員:100名) 学生 無料

交流会参加費：会員/一般

3,000円

なお、ものづくりIT研究会会員の方々は、14:00より平成24年度総会を行いますのでご出席ください。

■ 内容

講演 「電動車両の動向と将来展望—電力消費型車両の本格普及に向けて—」 (14:50~15:50)

独立行政法人 産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 客員研究員 清水 健一 氏

温暖化対策として登場したHEVは充分実用の域にはいり、次のステップとして系統電力を消費して走行することによって脱石油効果の高い、BEVやPHEVの本格普及が目前となっている。種々の電動車両の構造と省エネ原理について述べ、これを基に、電動車両の形式ごとに、普及させる際の課題と現状、将来展望について解説する。

また、電動車両の構成要素部品等の課題やトレンドについて概説したのち、特にBEVやPHEVなどに不可欠なインフラ関連の動向について紹介する。

講演 「トヨタプラグインハイブリッドの開発」 (16:00~17:00)

トヨタ自動車株式会社 HVシステム制御開発部 部長 阿部 真一 氏

自動車を取り巻く環境やエネルギー課題に対し、ハイブリッド車(HV)はこれらの課題に対する解決策の一つとなっており、信頼性の確保、および販売価格の低下に伴い、HVの販売台数は急激に増加している。一方、電気自動車(EV)の導入が考えられるが大量普及に対しての課題も残存している。プラグインハイブリッド車(PHV)は、EVの長所と、ガソリン車同等以上の航続距離を持つHVの長所を併せ持つ特徴がある。本講演ではプラグインハイブリッドシステムの開発の経緯とその効果について述べる

交流会 (17:15~18:30) : REC地下レストラン (参加費:3000円)

裏面の参加申込用紙に必要事項を記入の上、6月28日(木)までにお申し込み下さい。

■ お申し込み方法

ものづくりIT研究会 第42回例会 参加申込書

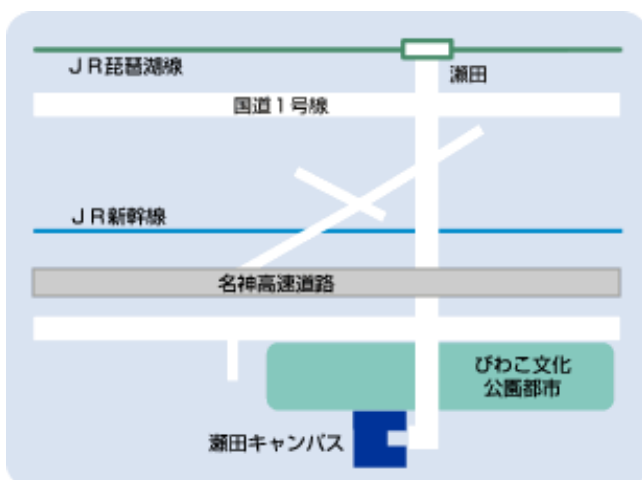
ものづくりIT研究会 第42回例会に参加します

会社名・機関名	
所属団体名	
所在地	〒
所属・部課名	
氏名	
TEL・FAX	
電子メール	
交流会（参加費：3,000円）	参加 ・ 不参加

参加申込み〆切： 6月28日（木）

■ 会場案内

SFA研究分科会事務局<sfa-staff@ml.osakafu-u.ac.jp>



- 場 所： 龍谷大学 瀬田キャンパス
REC ホール1階
(滋賀県大津市瀬田大江町1-5)
- 最寄り駅： JR琵琶湖線 瀬田駅下車
帝産バス 約8分
- 自家用車： 正門で入門チェックの後
駐車場にご駐車下さい